

自ら学び 自ら切り拓く 心豊かな入江の子

【八中グループの児童生徒の実態】

- 目標を決め、共有することで学習・生活に意欲的に挑戦する。
- 地域と連携した防災学習や防災訓練に参加し、防災意識や入江地区への貢献意欲を高めている。
- 児童会・生徒会活動や行事など、自ら考え判断して取り組む。
- 楽しさや面白さを感じることは、自主的に学習に取り組むが、定着が難しい。
- あいさつ運動を通して、主体的なあいさつが広がりつつあるが、相手を意識したコミュニケーション力が不十分。

【目指す子ども像】

- ・知識をつなげ、活用できる子
- ・様々な人と適切なコミュニケーションがとれる子
- ・自分の心身に関心を持ち、自主的に体力づくりをする子
- ・郷土を愛し、自分を愛し、人を愛せる子
- ・自ら主体的に考え、判断し、未来を切り拓く子

学んだことを社会に生かす力

困難を乗り越え自立していく力

社会の中から課題をとらえ解決する力

仲間や社会に働きかける力

清水入江小学校

重点目標「共にチャレンジ

～かがやきを見つけ合う子～

清水第八中学校

重点目標「本気の挑戦

～共に強く～

【軸となる取組】

【防災学習】

（しずおか学）

- ・9年間を見通した系統性のある防災学習
- ・地域防災訓練への参加
（地区担当者会、地区別集会、地区防災訓練）



4つの柱を中心とした教育構想

4つの柱	学習部 _{研修}	生活部 _{生指・体育・健康}	特活部 _{特活}
目指す児童生徒	・知識をつなげ、活用できる子	・様々な人と適切なコミュニケーションがとれる子 ・自分の心身に関心を持ち、自主的に体力づくりをする子	・郷土を愛し、自分を愛し、人を愛せる子 ・自ら主体的に考え、判断し、未来を切り拓く子
後期中3～中2	○学んだことや自分の考えを、筋道を立てて整理し、相手に分かりやすく、説得力をもって伝える。 ○既存の知識や考えを見直し、新たな情報と結びつけて、よりよい深い理解や新しい考えを再構築する。	○相手や場に応じた言葉遣い ○心のこもった言葉遣い ○社会の一員としての責任と役割の自覚 ○自立した生活○生涯体育への関心	○興味関心、得手不得手を理解し、よりよい進路を選択する ○地域の特徴や良さから課題を設定する
中期中1～小5	○学んだことを図や表、記号などを用いて分かりやすくまとめる ○根拠を示して自分の考えを説明する ○振り返りを次の授業につなげる	○相手や時に応じたあいさつ ○心のこもった言葉遣い ○社会のルールやマナーの定着 ○お互いの良さを認め合う関係 ○めあてをもった、体力づくり	○将来への前向きな思いをもつ ○夢の実現に向けて何をするか考える ○地域の人々と自分との関わりを考えた地域学習
前期中4～小1	○学んだことを分かりやすくまとめる方法を知る ○根拠を見つける ○振り返りを次の授業につなげる	○気持ちのよいあいさつ ○きまりや時間を守る ○みんなと仲良く生活できる。 ○運動を楽しむ。	○自分の良さや役割の自覚 ○友だちとの積極的な関わり ○自然体験、地域の魅力を調べる活動・行事を通して、地域の良さに気づく
主な取り組み	・小中授業参観 ・Chromebookを活用した授業 ・学習を振り返る場の設定	・あいさつ運動 ・児童生徒情報の共有 ・通学路確認、登下校指導 ・生活の規則やルールの見直しと共有 ・小中合同保健指導	・児童会生徒会を中心とした合同活動（空き缶回収・バルマーク回収等） ・ふるさと祭や地域防災訓練等地域活動への参加
UD 特別支援 特支	・居心地のいい学校環境づくり ・個別の教育支援計画作成 授業 ・教科特性をふまえた手立ての工夫 ・教材教具の工夫 ・つまづきの把握と個別の支援 人的環境 ・温かい人間関係 ・誰もが実行できるルールと見える化 ・困り感の把握と個別の支援 学習環境 ・安心して生活や学習ができる空間づくり ・学習準備、学習ルールの確認		

地域ぐるみで子どもを育てるコミュニティ・スクール

入江地区学校運営協議会

地域とつながる防災学習と福祉学習 ○防災支援部会○地区自主防災組織との連携○小学校福祉支援部会○地区福祉活動との連携
子どもを支え、ともに活動する入江地区 ○あいあいパトロール○入江外部相談員 ○学校応援団 ○放課後子ども教室